

百
応報

たまかわ



力いっぱい 頑張ったよ

5月26日、村内の運動会が一齐に行われ、児童たちは家族の声援を受けながら、各種目に大張り切り。幼稚園の園児たちも今日は、おにいさんやおねえさんに負けないうらい頑張りました。

初夏の日差しを体いっばいに浴びて、躍動する子供たち。若葉の輝きに似た子供たちの表情はいつも限らない可能性にあふれている。

柔軟な心と体は、君たちの大きな原動力。この気持ちをいつまでも持ち続けてほしい……。

'85
6
NO. 226

福島空港

開港目標は67年度

滑走路は2千メートル

福島空港建設は、昨年の九月に福島空港の用地範囲が示されると同時に、空港建設計画の概要が発表されましたが、運輸省の第五次空港整備五カ年計画に対する第一回ヒヤリングが五月九日に実施さ

れ、その中で年度の繰り延べをはじめ滑走路の変更などが明らかになりました。これは五月十三日に村就改センターで開かれた説明会で発表されたもので、県企画調整部全田稔次

長、空港技術集積地域対策室小神正志室長から村空港建設対策協議会委員や地権者会の役員等に対し、その計画修正について説明されました。

航空需要予測を

「関西」に合わせ変更

滑走路を二千メートルにすることによって、建設費は約三割程度削減さ

また、これによって、空港の規模も滑走路が二千五百メートルから二千メートルに対応することになり、とりあえず第一期工事で二千メートル計画し、将来、航空需要が増大した時点で第二期工事として五百メートルの延長を図ることになりました。

その内容は、般空需要予測の下方修正で、当初年間需要を百四万人と見込んでいたものが、全国的な需要鈍化の傾向にあることを反映して、福島空港の需要予測を再算定した結果、六十五年で六十六万人程度の需要見込みとなったものです。

開港目標年次については、当初六十五年度としておりましたが、福島空港の主要路線である関西国際空港の開港が早くとも六十七年度に予定されるため、今回の修正で六十七年度に変更されたものです。

滑走路が二千メートルに変更されても将来の延長を考慮して、ターミナルを中心とする空港本體部分二百四十分のほか、公園など周辺用地二百三十六分を合わせた四百五十分を取得するという方針は変更しないことなどの説明がされた後、委員や地権者会の役員から質疑や意見が交換されました。



県からの説明を熱心に聞き入るみなさん

福島空港事業計画

	福島県空港基本計画		第5次空整提出計画(案)	
	航空旅客 (千人)	航空旅客 (千人)	航空旅客 (千人)	航空旅客 (千人)
需要予測	昭和65年 1,048	昭和70年 1,575	昭和65年 664	昭和70年 829
	昭和75年 2,104		昭和75年 943	
空港の規模	滑走路長 2,500 M	着陸帯幅 300 M	第1期 2,000M	第2期 +500M
	平行誘導路 有	エプロン 6 パース	無	有
			300M	5 パース + 1 パース
事業計画	本體面積 約214 畝	概算事業費 約330 億円	約161 畝	+ 約 53 畝
			約270億円	+ 約146億円
開港目標年次	昭和65年度		昭和67年度	

※1：第2期計画（滑走路500M延長）は、将来航空需要が増大した時点で施行する。

※2：昭和56年度試算値、現在の試算では約390億円。

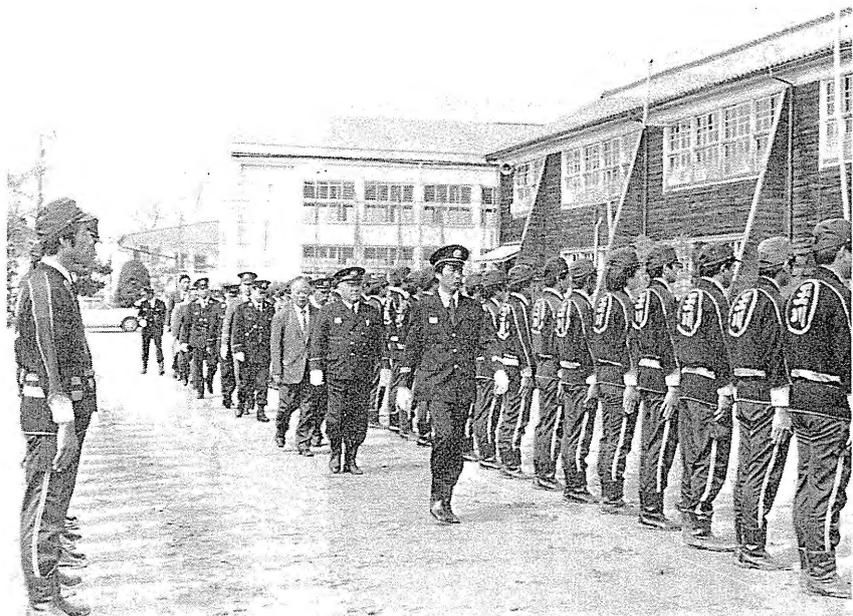
火の守り固く誓う

きびきびと春季検閲

村消防団の春季検閲が、四月二十八日午前九時から泉中学校々庭で団員と婦人消防隊ら二百九十人が参加して盛大に行われました。小原副団長の開始のことばに続

いて国旗掲揚、殉職消防団員に対して黙祷を奉げ、天皇陛下のおことばの後、検閲が開始されました。検閲官に村長が委嘱され、通常点検では団員の服装や態度を厳しく点検。そのほか指揮者の号令にあわせての分列行進をはじめ、中村池池畔では機械点検による一斉放水が行われ、団員らはきびきびとした動作で土気あふれる春季検閲を披露しました。このあと、消防庁官賞の伝達、防火優良家庭の表彰や感謝状の贈呈が行われ、消防活動にご尽力いただいた方々の労をねぎら

検閲官から通常点検を受ける団員のみなさん



昭和60年度表彰

■消防庁長官賞状(伝達)

元分団長 大越十七男
" " 石森力男
" " 塩田豊彦

■表彰状

(防火優良家庭)

川 辺 野崎幸男
" " 須藤善之
蒜 生 真弓泰行
小 高 小山田伸
" " 関根竹治郎
中 小針信一
" " 小針清志
岩法寺 吉田正

■感謝状

竜崎 三吉重敬
" " 小林俊清
南須釜 円谷房吉
" " 真野目喜正
北須釜 渡辺良友
" " 鈴木孝友
山小屋 須釜勝美
吉 石森清春
山小屋 塩田豊彦
四辻新田 塩田豊彦

退職団長 境田孝意
退職部長(訓練部長) 石森藤男

元庶務部長 大和田義幸
退職分団長 元藤部義幸

川 辺 野崎一幸
蒜 生 真弓泰行
小 高 車田覚蔵
中 小針清志
岩法寺 芳賀辰雄
竜崎 上野正吉
南須釜 有賀隆幸
北須釜 矢吹吉昭
山小屋 石森安隆
四辻新田 須田良一

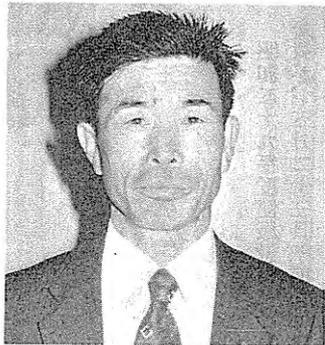
「工事入札結果」のお知らせ

昨年発生しました融雪災害につきまして、今年度施行分三カ所を、来る五月一日入札を行った結果左記の通り落札を見ました。ついでには当地域の皆様にご不便御迷惑をかけるかと思いましたが、よろしく御協力下さいますようお願い申し上げます。

公共土木災害事業

- 南須釜字越田地内(道路災)
- 二、〇七〇千円 湯沢組
- 吉字嫁田地内(道路災)
- 三、八〇〇千円 岩谷建設
- 農業用施設災害(頭首工)
- 北須釜字五升蒔地内
- 二、八八〇千円 小林建設

尚工期については越田地区が六月二十九日まで、嫁田・五升蒔地区については七月三十日までとなっております。



県政モニターの石森さん

県政モニターに 石森仲夫さん

昭和六十年年度の県政モニターに山小屋字高野の石森仲夫さん(54)が県知事から委嘱されました。任期は一年で、県政に対する意見や要望等を出していただいたり、モニター会議に出席されるなど村民の代弁者として活躍されま

す。この県政モニターは県内で職業別、年齢別によって百二十五人が誕生。石森さんもその一人として、県政に参加することになります。

ほくたち健康優良児 心身共にすこやかな赤ちゃん25人



お母さんに抱っこされて晴れの表彰（写真は車田陸美ちゃんとお母さん）

昭和五十九年度健康優良児の表彰式が、五月二十三日午前九時三〇分から就業改善センターで行われました。

今回、健康優良児に選ばれた赤ちゃんは女十八人と男七人の合わせて二十五人。

昭和五十八年四月一日から昭和五十九年三月三十一日までになされた赤ちゃん百十五人の中から、乳児検診や健康診断などをおして心身共に発育状態がすぐれていると認められたものです。

会場は元氣いっぱい赤ちゃんが勢ぞろいしただけにぎやかそのもの。村長から「発育が良好ですぐれている二十五人の赤ちゃんとそのお母さん、今日はおめでと。未来の玉川村を担うこの子らが、親の愛情といつくしみですくすく成長し、健康でたくましく育



謝辞を述べる八木さん

ってほしいと思います」とお祝いの言葉が。

このあと、お母さんに抱っこされた赤ちゃん一人ひとりに村長から表彰状と記念品が手渡されました。

また、来賓として母子健康センター助産婦の佐久間スイさんから「今日の受賞は、家族みんなでいつくしみ育ててきたことの大きな成果です。家族みんな喜びをおかちあって、これからも健康でおらかな子供に育ててください」と激励の言葉が寄せられました。

これにこたえて受賞者を代表して八木佳美ちゃんのお母さん（玲子さん）が、お礼の言葉と子育ての抱負を力強く述べられました。

- 受賞者は次のとおりです。
- 大竹綾子（俊夫の長女・川辺）
 - 小針 豪（保之の長男・中）
 - 湯沢直人（光夫の長男・竜崎）
 - 小林和央（正司の長男・中）
 - 小針可奈（竹千代の二女・中）
 - 鈴木信広（吉光の二男・竜崎）
 - 曲山憲子（孝夫の長女・藤生）
 - 鈴木 聡（和夫の二男・川辺）
 - 八木佳美（喜孝の長女・南須釜）
 - 関根由美（安夫の長女・北須釜）
 - 大野美香（勝雄の長女・中）
 - 須藤愛子（保一の二女・川辺）
 - 車田陸美（利重の二女・小高）
 - 塩田ちひろ（真一の長女・四辻新田）
 - 曲山絵理（勉の長女・藤生）
 - 車田 司（幸司の長男・小高）
 - 小林富美（伸一の二女・竜崎）
 - 円谷美香（信幸の三女・川辺）
 - 八代英子（元治の二女・北須釜）
 - 石森 恵（国雄の長女・山小屋）
 - 矢吹 淳（広良の二男・川辺）
 - 矢吹めぐみ（次男の長女・岩法寺）
 - 車田恭子（悦夫の長女・小高）
 - 須釜菜美子（勝則の長女・吉）
 - 添田弥生（昇の長女・小高）



元氣いっぱいの健康優良の子供たち

保健協力員が新しくなりました

検診時等にお手伝いします

村民の健康保持と保健衛生業務の円滑な運営を図るため、地域の保健指導をはじめ、各種集団検診等の大きな推進力となられる保健協力員がこのほど新しくなり、その委嘱状の交付が四月二十五日に行われました。

委嘱状が交付されたのは曲山栄子さんから三十三名。また、この席上、会長と副会長が互選され、会長には関根智恵子さん（北須釜）、副会長には野崎キン子さん（中）がそれぞれ選ばれました。

協力員の任期は今年度から六十二年度までの三年間。総合検診や妊婦検診などの際、地区住民に受診をすすめたり、実施時には問診など保健婦さんの手となり足となる補助的役割を果たしていただく

川 辺	曲山栄子	電話 20003	南須釜	三吉テル	電話 27688
"	矢部征子	電話 35552	"	岡部光子	電話 27211
"	大竹アサ子	電話 28006	"	塩沢孝子	電話 38911
"	田子博子	電話 30334	"	吉村ツヤ子	電話 26446
"	大竹トミ	電話 23335	"	塩沢栄子	電話 22669
"	吉田ユウ子	電話 34228	"	小原カネヨ	電話 33370
"	車田シサノ	電話 22279	"	大野チユエ	電話 27998
"	溝井文子	電話 21822	"	大木フク子	電話 36222
"	湯沢美代子	電話 21333	北須釜	関根智恵子	電話 28879
"	野崎キン子	電話 37339	"	塩沢キミエ	電話 28665
"	小針秋子	電話 33933	"	草野マキ	電話 33444
"	首藤たみ子	電話 33227	吉	鈴木すみ子	電話 23866
"	倉鎌久子	電話 33776	"	森ノブ	電話 30911
"	大竹ヒロ子	電話 34663	山小屋	石森フミ	電話 26770
"	小林喜子	電話 24115	"	滝口ハツ子	電話 27774
竜崎			新四	関根ヨシ子	電話 26779
			"	大野ヨシ子	電話 37661



退職された中野チヨウさん

長い間ご苦勞さまでした

中野さん、母子センターを退職

村母子健康センターに勤務されておりました助産婦の中野チヨウさん（79歳）が、健康上の理由で三月三十一日でセンターを退職されました。

中野さんは昭和三十八年四月、村に母子健康センターが開設されると同時に、自宅開業からセンターの助産婦として勤務されてま

健康家庭を表彰 曲山さんら受診0の3世帯

健康優良児の表彰とあわせて、昭和五十九年度国民健康保険の健康家庭の表彰が行われ、曲山誠さん（蒜生）ら三世帯が受賞されました。

今回の受賞家族は、国保加入世帯一、一三五世帯の中から、国保に入っている人が三人以上の場合是一年間、二人では二年間、一人では三年間継続して医者にかからず、国保税の滞納もない家庭が選ばれたものです。

日ごろから健康管理に努められ、それが実を結んだ三世帯の方に村長から賞状と記念品が贈られ、受賞者を代表して岩法寺の大竹和栄さんが謝辞を述べられました。

受賞者は次のとおりです。

世帯主名
大竹 和 栄（岩法寺）
曲山 誠（蒜 生）
石森 正 治（山小屋）



健康家庭で表彰される大竹さん

以来、二十二年という年月を粉骨砕身、深夜のいとまない献身ぶりで、妊産婦から厚い信頼が寄せられていました。

中野さんがこれまでにとりあげた赤ちゃんの数も二千五百人を超し、最近では親子二代でお世話になる人も。

助産婦一筋、半生を地域の母子健康の向上のために尽くされてきた中野さんに、厚く御礼を申し上げますとともに感謝の意を表したいと思います。

本当に長い間、ご苦勞さまでした。これからの余生を健康に留意されまして、元気にお過ごしください。と思っています。

60年度総合検診スタート 年に一度の健康チェックで安心を

健康で快適な生活を送るには、日ごろの健康管理が大切です。昭和六十年年度の総合検診が六月十八日から十一日間の日程で行われます。

昨年からは農作業や会社勤めなど、日中忙しい人々を考慮に入れた朝七時からの早期検診を実施しています。

自分の健康は自分で守る——成人病は早期発見、早期治療が大切です。年に一度の健康チェックで、安心しあわせな生活を送りましょう。

治療よりも予防が大切

がん、脳卒中、心臓病などのいわゆる成人病による死亡者は年々増えており、表1を見てもわかるように本村においてもその傾向にあります。

例えば昭和五十七年に成人病で亡くなった人は四十三人で、成人病以外で亡くなった人や事故死者などを含む死者総数の約六〇・六パーセントにあたり、昭和五十九年ではその数が八十一パーセントにもなっています。

ある壮年期、つまり働き盛りのころからかかりやすくなるのが特徴です。こうしたことから壮年期からの健康づくり、成人病の予防とその早期発見、早期治療を図るために定められたのが「老人保健法」なのです。

これは、いわば「成人病予防の法律」ともいえるもので、施行されてから今年で三年目を迎え、四十歳以上の方は年一回の健康診査を受けなければなりません。



健康診査で早期発見を

ふだん自覚症状がないからと検診を受けないでいて、「健康がすぐれない」「体の調子が悪い」などと医師を訪れたときにはもう手遅れということにもなりかねないのが成人病の恐しさです。これは成人病の多くが徐々に進行する性質をもっているためです。

しかし、ふだんから食事や運動など日常生活に気をつけ、定期的な健康診査を受けることによつて予防することができるとも成人病なのです。がんに限らず、病気が進行してからの対策(治療)は本人に大きな苦痛を与えるばかりでなく、家族など周りの人にも経済的、心理的な負担を与えることにもなります。

表1 年別・死亡別の推移

種別	年別				
	昭和51年	53年	55年	57年	59年
肺がん	3人	2人	0人	2人	4人
心疾患	14	15	8	14	18
脳血管疾患	25	22	25	14	14
悪性新生物	7	12	11	13	11
肺炎(気管支炎)					
老衰、事故、糖尿病、乳児、その他	18	16	19	28	11
計(成人病の占める割合%)	67(73.1)	67(76.1)	63(69.8)	71(60.6)	58(81.0)

昭和59年度 総合検診多診状況(住民課衛生係調べ)

項目	結核			一般診査			精密検査(心電図、眼底、血液)				胃がん検診			
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	精検者	異常なし	要指導	要治療	受診者	異常なし	要注意	要精検
川辺	476	408	85.7	358	320	89.4	49	7	9	33	163	100	32	31
蒜生、中	455	363	79.8	311	264	84.9	71	18	15	40	138	92	26	20
小高	512	430	84.0	370	321	86.8	42	7	9	26	109	65	20	24
竜崎	389	319	82.0	284	233	82.0	39	7	7	25	81	58	8	15
南須釜	502	379	75.5	360	306	85	64	13	8	43	94	68	10	16
北須釜	351	350	99.7	291	280	96.2	62	2	9	51	97	60	14	23
岩法寺	208	173	83.2	151	131	86.8	55	7	5	43	49	32	7	10
吉	155	124	80.0	135	102	75.6					南須釜に含む			
山小屋、河平、小字弓、青井次	277	261	94.2	186	183	98.4	34	1	1	32	74	43	16	15
四辻	131	108	82.4	95	78	82.1	30	2	7	21	47	27	7	13
計	3,456	2,915	84.3	2,541	2,218	87.3	446	62	70	314	888	564	145	179
58年度受診状況	3,608	3,042	84.3	2,584	2,248	87.0	522	61	90	371	786	547	111	128

次のような 検診をします

♥結核検診
対象は十五歳以上の方で無料。
♥一般診査
身長、体重、尿、血圧などを測ります。対象は四十歳以上で無料。

♥精密検査

一般診査で要精検と診断された人が心電図、眼底、血液検査を受けます。料金は六十九歳までの人は五百円、七十歳以上は無料。

♥胃がん検診

対象は四十歳以上で無料。

次のものを持ってきてください

♥容器にその日の朝とった尿



一人でも多くの受診を

何気なく受けた胃検診で「要精検」という通知が届き、「まさか、自分が」という気持ちでした。

「手術」をした方がなおりが早いと言ひ医師の言葉は残酷に聞こえ、あの時の落胆さは言葉に言い表わせないほどでした。

半信半疑の気持ち強いまま、家族の強いすすめもあつて覚悟を決め、手術をしてから今年で丸二年を迎えます。

お蔭様で手術の経過も良く、あ

♥検診料 五百円(40才~60才まで)で精密検査が必要になった人)

♥健康手帳

♥受診券、健康診査録、胃がん検診録には記入して持参してください。

次の点に注意を してください

♥四十歳以上及び胃検診を受ける方は朝食をとらないで。また、お茶、タバコ、ガム等も控えてください。

♥妊婦の方は受けないでください
♥当日都合の悪い方は、胃検診以外でしたらこの会場でも受けられます。

まり無理なことはできませんが、孫たちに囲まれながら趣味の釣りや彫刻に余暇を楽しんでいます。

もし、あの時受けていなかったら……と思うとますます検診の大切さを感じます。成人病は自覚症状が出てからでは遅いと言われます。

一人でも多くの方が受けてほしいと思います。

(50代・男性)

総 合 検 診 日 程 表

実施月日	曜日	地区名	実施時間	実施場所
6・17	月	川辺 1組~9組まで	午前 7:00~9:00	川辺公民館
6・18	火	川上 記組以外	午前 7:00~9:00	川辺公民館
6・19	水	蒜生・中	午前 7:00~9:00	玉川村体育館 就業改善センター
6・20	木	山小屋・河平 小半弓青井沢	午前 7:00~9:00	山小屋公民館
6・21	金	小 1組~9組まで	午前 7:00~9:00	玉川村体育館 就業改善センター
6・22	土	小 上 記組以外	午前 7:00~9:00	玉川村体育館 就業改善センター
6・24	月	竜 崎	午前 7:00~9:00	竜崎公民館
6・25	火	南 須 釜	午前 7:00~9:00	勤 労 者 体 育 センター
6・26	水	北 須 釜	午前 7:00~9:00	須釜児童館
6・27	木	岩 法 寺	午前 7:00~9:00	岩法寺公民館
		吉	午後 1:00~3:00	吉 公 民 館
6・28	金	四 辻	午前 7:00~9:00	四辻農業研修所 塩田タミ子宅前

※ 吉地区の胃の検診は須釜公民館でおこないます。

*—どうぞ よろしく

保健婦の永林です

気軽に声をかけてください



保健婦の永林美代子さん

この春、保健婦の学校を卒業し、五月から正式に保健婦として働くことになりました永林美代子です。

地元とはいってもまだ、わからないことが多く、皆さんに教えていただくことの方が多いと思いますが、住民の皆さんの健康を守るため、一生懸命頑張りますのでよろしく願います。

また、育児や健康上の悩み、不安がありましたら、いつでもどこでも声をかけて相談してください。

高齢者教室

スタート

昭和六十年年度の高齢者教室の開講式が五月二十二日に開かれ、泉教室には八十名、須釜教室に六十余名の高出席率で熱気あふれるスタートをきりました。

開講式は白旗公民館長から激励の言葉があり、各運営委員長が皆勤への誓いをし、早速第一回目の講義に。泉郷駐在の山内巡査部長が「交通安全について」、佐藤主任保健婦さんは「高齢期の健康について」それぞれ話しをした後、希望者には血圧測定を。教室は来年二月まで月一回の割で、文化財めぐりやダンスなど楽しく豊かな老後のための学習が行われます。



熱心に受講するお年寄りのみなさん



愛好者の人気を呼んだ山野草展

かれんな 山野草展に人気

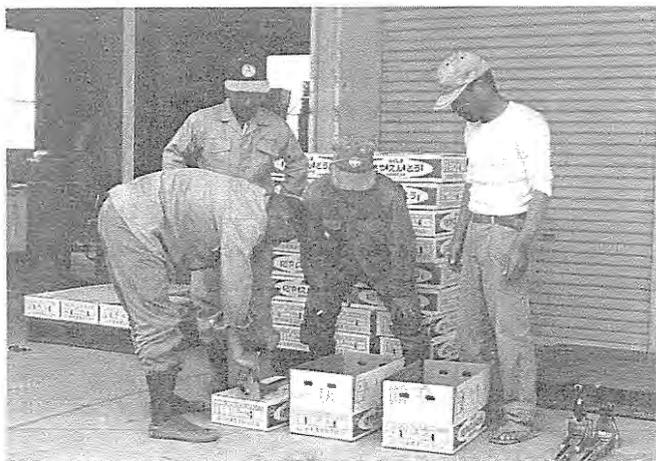
玉川山野草会(車田光雄会長)主催の展示会が五月十五日・十六日の二日間、村就業改善センターロビーで開かれ、愛好者たちの人気を集めました。

今回の春の展示会は初めてで、ロビーには会員二十七人が持ち寄った色とりどりのかれんなエビネや羽蝶蘭(うちょうらん)など百十五点が所狭しと並べられ、会場は一変にして美の世界に。訪れた人々は会場いっばいに漂う野山の初夏の香りを味わいながら熱心に見入っていました。

話題 あれこれ

さやえんどう の出荷始まる

昨年の十一月に作付したさやえんどうが、このところの暖かさで収穫できるまでになり、五月二十五日から出荷が始まりました。約百八十の生産農家では、午前中摘みとったものを午後選別し、五時から六時の間に各集荷所に。作柄は、冬の雪不足で地表が凍ったために欠株ができ、例年の七、八割の見通しだということです。一箱四キログラム、二千八百円から三千円の値段で京浜市場へ。さやは摘み取り期間が二十日から一カ月と短いうえ、量が勝負だけに、生産者の顔は一段と活気づいているようでした。



集荷所に持ち込まれるさやえんどう



基本的なものをしっかり身につけて……

テニス教室で さわやかな汗

テニスコートのオープン 행사를兼ねたテニス教室が五月十二日、十九日、二十六日の三日間開かれ、家庭の主婦ら三十人が参加しました。

これは公民館主催で行われたもの。講師の先生からラケットの素振りやボールの打ち方、サーブの仕方など基本となるものを重点的に指導を受け、練習も真剣そのもの。そのかいあってかメキメキ上達組も。参加者は午前九時から十二時までの三時間、白球を追いながらさわやかな汗を流していました。

この人登場 ①
 このコーナーは
 村民を紹介するた
 めに設けました。「こ
 んな人がいます」とお
 知らせください。



増子サタさん (南須釜)

真心込めた雑布の寄付
 南須釜の増子サタさん

一針、一針を手縫いで縫いあげた雑布を子供たちがお世話になった母校に毎年百枚ずつ寄付をされているお年寄りがいます。

この方は南須釜字粟踏石に住む増子サタさん(80歳)で、昭和五十四年から須釜小と須釜中にそれぞれ贈り続け今年で七年目。

材料はサタさんが着ていたユカタ地や子供たちの布団などすべて木綿だけ。十数年前から一人暮らしで、足が少し不自由なだけであとはいたって健康なサタさん。夜

の退屈しのぎと、働くのが精一杯で自分の子供に雑布一枚学校に持たせてやれなかつたという思いがきっかけとか。

学校ではこの貴重な寄付に大変感謝しており、朝会に校長先生は「大事に使いなさい」と生徒たちに言葉かけを。

サタさんは「みんなに喜んでもらって嬉しい、丈夫なうちは続けたい」と目を細めて話っていました。



しっかり ①

お茶の水女子大学教授
 附属幼稚園園長

外山 滋比古

子どもは白い

キャンバス

このごろ教育について意見をもち若い女性がふえています。それでいて、生まれたばかりのわが子になんと行ってやればよいのか、ごぞんじないお母さん

がすくなくないのは、どうしたことでしよう。

ものを言わない赤ちゃんに口をきいてみても、しかたがないと思っっている人もいます。とんでもない考え違いです。

赤ちゃんには「おかあさんですよ」がこの世で最初にきくことばであつてほしいものです。そして

おりにふれて話しかけます。

聖書の中に「はじめにことばありき」という有名なことばがありますが、赤ちゃんにとつても「はじめにことばありき」でなくてはなりません。できれば「はじめに母のことばありき」でありたいと思います。

お母さんは子どもにとって、最初の、そしていちばん大切な先生なのです。若い女性の中には、社会で働くことに生きがいを感じ、子育てを面倒なことのように考える向きが少なくありませんが、子育てほど大切で、難しい仕事はないと言っているではありません。仕事というのは間違えです。むしろ

しろ芸術と言うべきでしょう。みどり児を育てても心をつけるのは、白地に絵をかくようなものです。絵をかくのが芸術なら、子育てもりつばな芸術的創造になります。

学校の先生になるには、教職のための勉強が必要です。教育実習もあります。採用試験にも合格しなくてはなりません。それ以上に重要な教育をするお母さん先生が、まるで先生としての勉強をしていないとしたら、ずいぶんおかしなことではないでしょうか。

昔は胎教がありました。お母さんになる心構えを教えたものです。いまはそういうことばのあつ



金沢リマ子さん

県消費者物価モニターに
 金沢さん

昭和六十年度の県消費者物価モニターに本村担当として、金沢リマ子さん(小高字向久保)が県知

事から委嘱されました。任期は一年間で、金沢さんは昭和五十九年度に引き続いての担当です。仕事の内容は、生活関連物資の価格動向や出回り状況の調査などが主なものです。最寄りの商店にお伺いしました際には、ご協力をお願いします。

貴重な一滴を大切に

* 水道週間 *

6月1日~7日



公民館だより

さあ！君も仲間に入ろう

青年教室で学びませんか

公民館主催で青年教室が開催されます。同世代の仲間たちと語り合い、友情をあたためてみませんか。

青春時代の一ページとして仲間

と一緒に学び、有意義に過ごしませんか。積極的にご参加ください。

★期間 五月から十一月までの第二、第四月曜日

★対象 村内に居住する勤労青年

★場所 村公民館

★時間 午後七時～九時

★学習内容

趣味、教養、ボランティアに関する学習及びレクリエーション
(別表を参考)



若さは太陽の輝き！

昭和60年度 玉川村青年教室学習プログラム

回数	期日	曜日	学習主題	学習内容	時間	学習方法	講師 他
1	5/27	第4回(月)	開講式 グループワーク トレーニング	オリエンテーション 運営委員会の構成 二人で散歩印象ゲーム	2	実習	公民館職員 動きやすい服装で
2	6/3	第3回(月)	会議の進め方	会議とは フィルムフォーラム バスセッションのしかた パネルディスカッションの進め方	2	演習	県中教育事務所 社教主事 原竹十
3	7/8	第2回(月)	玉川の歴史	電気と水 鉄道と道路 文化運動 青年運動	2	講義	郷土史研究会長 岩谷浩光
4	7/21	第3回(月)	安達太良登山(未定)	第19回村民登山会への参加、自然と親しもう。	8	実習と協力	村体育指導員
5	8/26	第4回(月)	ミニ知識	冠婚葬祭の風習、習慣 新生活運動	2	講義	岩谷浩光 公民館長 白旗幹雄
6	9/9	第2回(月)	生きる喜びのために	音楽あれこれ 歌のたのしさ 音楽と人生	2	講義 レコード鑑賞	県中教育事務所 指導主事 阿部信幸
7	9/30	第5回(月)	外園を知ろう	海外研修をして 学んだもの 文化祭の取り組み	2	スライド実習	若人の翼 溝井浩一 教員研修 落合克美
8	10/14	第2回(月)	体育	バレーボール バスケットボール 文化祭の取り組み	2	実技実習	公民館職員 落合克美
9	10/28	第4回(月)	社交ダンスを学ぶ	マンボ・ジルバ・ブルー スの基礎講義と実技	2	実習	ダンス研究家 浜喜美子
10	11/25	第4回(月)	英語会話 閉会式	基本的なやさしい会話 修了式	2	実習	原竹十 公民館職員

スポーツ教室 開催担当者から

社教主事 落合克美

スポーツ教室に参加して



丹内みち子さん
(岩法寺)

日頃スポーツに親しむチャンスの少ない主婦にとりまして、今回のテニス教室を大変楽しみにしております。

コートいっぱい走りまわってみようと思い、主人とともに参加させていただきました。

思うのと実際はかけはなれたもので、大変に難かしいスポーツでしたが、親切に指導して下さいました先生方のお蔭で、自分なりに満足して教室を終了することができました。

この教室で学んだことを忘れずに、多くの方々と機会を設けて楽しんで行きたいと思っております。

6/5～6/11は環境週間

決りを守って環境の美化に

六月五日から六月十一日まででは環境週間です。決まりごとを守りみんな環境の美化に努めましょう。

◆危険物収集について のお願い

●毎月、一日が泉地区、二日は須釜地区の収集日です。指定の場所に指定日に出しましょう。

- 使用済みの水銀電池は、一般電器店等へ持っていただく。
- 燃えるゴミは家庭で焼却し、あき缶はつぶして必ず包装して出しましょう。
- 年一回の登録と狂犬病予防接種が義務づけられています。最近、犬の放し飼いが見られ、子供のケガばかりでなく、作物への被害も出ています。住み良い村づくりにはあなたの協力が必要なのです。



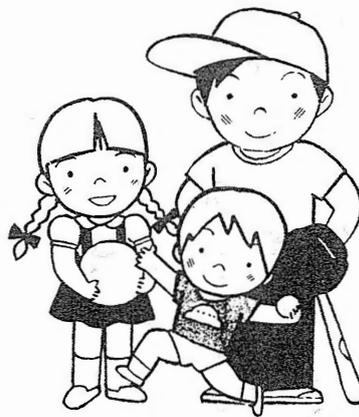
一人ひとりのモラルが大切です。住み良い村づくりにはあなたの協力が必要なのです。

* 現況届——六月三十日まで

「児童手当」を引き続き受けるには 手続きが必要です

児童手当または児童手当の特例給付を受けている方は「現況届」を提出しなければなりません。期限は六月三十日です。

この現況届は、受給者の前年の所得の状況と六月一日現在の養育の状況など、



手当を受けられるかどうかを確認するための大切な手続きです。これからも引き続き児童手当や特例給付を受けようとする人は、現況届を提出してください。

この現況届を出しませんが、六月からの手当が受けられなくなり

ますのでご注意ください。現況届には印鑑が必要です。忘れずに期限内に役場住民課又は支所で手続きを済ませてください。

朗報です!

6月から生ゴミ収集が週2回

今まで週一回だった生ゴミの収集が六月から、水曜日と土曜日の週二回実施されることになりました。

次の点を必ず守ってください

つゆどきの洗濯

〔工夫が必要なつゆどき〕

つゆどきは洗濯物が乾きにくく困ります。特に、赤ちゃんや病人のいる家では、おむつ、敷布、タオル等乾きにくい綿製品が多いのでなおさらです。

また、汚れものをためておいたり、洗濯、脱水

したものを積んだままにしておく、かびが生えやすくなります。

干し場の工夫、コインランドリーの乾燥機の活用、アイロンによる乾燥、クリーニング店の利用等いろいろ工夫してみましょう。

また、綿製品の脱水も1分より3分のほうが約25%余計に脱水できます。この場合は、しわが増えるのでよく伸ばして干すことが必要

です。

〔自然乾燥の工夫〕

●軒下にプラスチックの波板をかけ、雨の日も干せるようにします。また、風呂場やガレージの隅等、雨がかからず風通しのよい場所に干し場をつくと便利です。

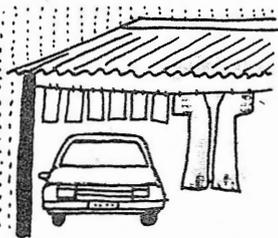
●小物干しは場所をとらないので便利です。ぶら下がっているピン干を丈夫なものに変えて使用すれば、多少大きいものでも干すことができます。

〔乾燥機の利用上の注意〕

●フィルターの綿ほこりは、使用前に必ず除去します。また、脱水した洗濯物は、よく振りさばいてから干します。

●綿のものと、混紡のものを一緒に乾燥するときは、作動途中で乾燥機を止め、乾いたもの(混紡のもの)を取り出して、再び動かし

ます。●からからに乾燥すると小じわが取れにくく肌ざわりが悪くなるので、ほぼ乾いたら取出し、自然に乾かすか、アイロンをかけるよう



●洗濯物は充分乾いてから低温の場所に収納します。

お知らせ

七月七日
河川のクリーン
アップ作戦
みなさんのご協力を



今年も七月七日の日曜日に県内
一斉に河川クリーンアップ(清掃)
作戦が行われます。
本村でも行政区ごと一斉に行わ
れ、河川環境の浄化を図ります。
詳しいことは各区長さんをお
しとお知らせしますので、みなさ
んのご協力をお願いします。

7月1日から 登記関係手数料の 印紙が変わります

不動産登記簿等の謄抄本の交
付や閲覧、証明等の申請には、
「収入印紙」が使われていたの
が、7月1日からは「登記印紙」
になります。

この登記印紙は、登記簿の謄
抄本等の手数料を納付する場合
だけで、売買や相続等による所
有権移転や抵当権設定などの登
記の申請に必要な登録免許税
は、これまでどおり収入印紙で
す。

また、同時に登記関係の手数
料も改定されます。

この登記印紙は郵便局等で取
扱います。

なお、詳しいことについて
は、最寄りの法務局、又は支局
にお尋ねください。

年 金 だ よ り

今月の納税

村民税(一期分)
国民年金(二期分)
納期限は六月二十五日(火)
までです。忘れずに納めま
しょう。

保険料は忘れず

国民年金の保険料は、一ヶ月六
七〇円ですが三ヶ月分合せて納
める期限が決められ、第一期が六
月二十五日・第二期八月二十五日
・第三期十月二十五日・第四期十
二月二十五日となっています。

今月は第一期の納期限です、保
険料を期限までに納めていませ
んと万一の病気やケガで障害者にな
ったときや、不幸にしてご主人を
亡くされたときなど年金が受けら
れなくなるばかりか、将来老齢年
金も期間不足で受けられない場合
もありますので忘れないで納めま
しょう。

6月の健康ごよみ

- 3日(月) 成人病予防
教室(四辻地区)
午前9時30分
- 4日(火) 妊婦検診及
び母親学級(西部)
母子センター 午
後1時30分
- 13日(木) 成人病予防
教室(岩法寺地区)
午前9時30分
- 14日(金) 乳幼児検診
母子センター 午後1
時30分
- 18日(火) 妊婦検診及び母親学級
(東部) 母子センター
午後1時30分
- 7月1日(月) 成人病予防教室(四辻
地区) 午前9時30分
妊婦検診及び母親学級
(西部) 母子センター
午後1時30分
- 2日(火)
- 8日(土)~9日(日)
さつき・盆栽展村体育館
第15回村民ソフトボ
9日(日)

公民館の予定

おめでた

(四月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	田子雄大	武正
中	小針香織	良一
"	角田 瞳	文博
竜崎	小林寛人	金喜
"	仁井田 淳	光夫
南須釜	塩澤枝美	誠美
"	小山田直浩	直美

おくやみ

(四月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯 主名
川辺	矢吹梅雄	79	昭夫
南須釜	鈴木フジ	85	米藏
北須釜	関根キヨ	68	初子
"	車田金重	82	清和
"	瀬谷ひとみ	0	吉定

村のようす

(60年5月1日現在)

	1,542戸(+4)
	7,500人(+6)
	3,697人(+9)
	3,803人(-3)

寄付

ありがとうございます
ごさいます

左記の方々から社会福祉活
動資金として寄付をいただき
ました。
厚く御礼を申し上げます。

記

- ・南須釜の鈴木米蔵さんから 壹万円
- ・北須釜の関根雄太郎さんから 壹万円
- ・四辻新田の大和田七郎さん
から 壹万円
- ・岩法寺の草野博充さんから 参万円
- ・南須釜の我妻喜美夫さんか
ら 壹万円

「うちょうらん
羽蝶蘭」と「生け花」の展示会開催
玉川山野草会(会長・車田光雄)
と華道小原流(代表岩谷ミヨ小原
流教授)との二大合作の展示会
が、六月二〇日から二十二日まで
の三日間、公民館ロビーで開催さ
れます。
お気軽にお出かけください。

